

大根中学校区学校整備懇話会における検討状況について

教育総務課

令和 6 年 9 月に策定した「みんなで考えるみらいの学校整備指針」における、各中学校区の学校施設の整備時期については、大根中学校区（大根小学校、広畑小学校、大根中学校）が最も早く、2030 年代前半の整備時期を目安としています。

そこで、将来の学校施設のあり方を、子どもたちの学びを見据えながら検討するため、本市からの依頼に基づき、地元において、令和 6 年 10 月に「広畑小学校・大根小中学校運営協議会」を母体とした「大根中学校区学校整備懇話会（以下、「懇話会」という）」を設置していただきました。

当資料は、懇話会における令和 6 年度の検討状況等について、報告するものです。

1 懇話会について

(1) 懇話会委員（13 名）

大根地区自治会連合会長、大根小学校長、広畑小学校長、大根中学校長、大根小学校 P T A 会長、広畑小学校 P T A 会長、大根中学校 P T A 会長、ひろはたこども園長、県立秦野高等学校長、大根公民館長、秦野精華園長、東海大学教授、C S ディレクター

※ 第 3 回からは大根小学校、広畑小学校、大根中学校から数名の教職員にも参加していただきました。

2 懇話会開催状況

開催	開催日	議題（省略記載）
第 1 回	令和 6 年 10 月 31 日（木）	1 懇話会設置について 2 懇話会規約（案）について 3 学校整備指針について 4 国の政策動向について
第 2 回	令和 6 年 11 月 28 日（木）	1 これからの議論の進め方 2 新しい学びとは 【グループ意見交換】 3 学校の建物と敷地 【グループ意見交換】
第 3 回	令和 6 年 12 月 18 日（水）	1 第 2 回懇話会意見交換振り返り 2 子どもたちの学びの方向性について 3 新たな学校について 千葉工業大学 ^{くらかず} 倉斗教授より 【グループ意見交換】
第 4 回	令和 7 年 1 月 28 日（火）	川崎市立はるひ野小学校・中学校視察
第 5 回	令和 7 年 2 月 7 日（金）	1 第 3 回懇話会意見交換振り返り 2 学校と公共施設の複合化について (1) 公共施設再配置について (2) 大根公民館の現況について (3) 学校施設と公共施設の複合化について考える 筑波大学 ^{たんま} 丹間教授より 【グループ意見交換】
第 6 回	令和 7 年 3 月 25 日（火）	1 川崎市立はるひ野小学校、中学校視察報告について 2 第 5 回懇話会意見交換の振り返り 3 令和 6 年度の懇話会総括と提言書の作成に向けて (1) これまでの意見交換の総括 (2) 令和 7 年度に向けて 【グループ意見交換】 4 令和 6 年度の懇話会の感想

3 懇話会での主な意見

検討事項	意見交換の結果
(1) 学校制度のあり方 義務教育学校や小中一貫校など、学校制度を総論的にどのようにしていくか。	⇒ ・異学年交流や9年間を通した子どもの成長、教職員のマネジメントを中心に、<u>義務教育学校に対する期待は大きい。</u> ・放課後などの子どもの居場所においても、兄弟で同じ場所にいてくれるという保護者にとってもメリットがある。 ・新たな学校のあり方として、何をやるのかというソフト面が重要。
(2) 新たな学校施設の敷地 どこの敷地で新しい学校を建設するか。	⇒ ・<u>大根小学校と大根中学校の敷地を一体的に活用</u>できるのであれば、余裕を持った施設が期待できる。 ・学校行事等も考えると敷地は広い方がよい。 ・一方で、通学距離や周辺道路、跡地活用に対する検討は必要。
(3) 望ましい公共施設複合化 地域コミュニティの拠点を目指し、どのような公共施設機能が必要か。	⇒ ・<u>公共施設との複合化は様々な側面から期待</u>したい。 ・特に子どもの放課後の居場所づくり、高齢者の居場所づくりで、交流ができる仕組みづくりが大事。 ・安全対策は最優先であるため、セキュリティ面の検討は必要。

4 今後の取組予定について

(1) 課題に対する意見交換

令和6年度に意見交換された内容のうち、特に課題として示された内容について、更なる意見交換を図り、課題解決の糸口を探る。

(2) 学校施設の具体的な検討

はるひ野小学校・中学校の視察を踏まえ、学校の中のつくりなどについて、意見交換を実施する。

また、教職員や子どもなど、当事者の意見の聴取も実施する。

(3) 様々な方への意見聴取

これまでの意見交換を懇話会のみならず、様々な関係者へアンケート調査やワークショップなどを通じて、意見を聴取する。

また、この取組を懇話会の下部組織である、各部会の取組として実施し、提言書への意見の反映を行う。

(4) 提言書の作成

市へ提出する大根中学校区の新たな学校施設づくりに関する提言書を、懇話会として令和7年9月ごろまでの提出を目指して取りまとめる。

市は、提言書を踏まえ、大根中学校区学校整備構想として策定を進める。

5 学識経験者について

(1) 学校建築に関するアドバイザー

くらかずりょうこ

倉斗綾子教授（千葉工業大学創造工学部）

小学校建築計画を中心に、教育施設や保育所など、「子育て」の環境づくり、教職員の働く場づくりなど、研究と設計支援を実践小中一貫校の計画実績も多く、文科省のアドバイザーにも従事



(2) 複合化・共用化に関するアドバイザー

たんまやすひと

丹間康仁教授（筑波大学人間系准教授）

社会教育・生涯学習の観点から、地域と学校の協働のあり方について検討する中で、近年では、学校統廃合・公民館再生と地域づくりについて、研究・実践をされている。

